

開催報告

## 令和4年度土木学会全国大会 in 京都 第77回年次学術講演会の参加報告

太陽工業株式会社 藤城 裕也

2022年9月15日から16日にかけて、令和4年度土木学会全国大会 in 京都 第77回年次学術講演会が京都大学吉田キャンパスにて開催された。今回の年次学術講演会のテーマは『「文明化された社会」をこえて一土木学のめざすもの』となっており、前回、前々回はオンラインでの開催であったが、今年は3年ぶりの対面での開催であった。新型コロナウイルスの派生型であるオミクロン株（BA.5）の流行のため、各セッションの会場は座席に余裕をもたせてあり、消毒用アルコールを設置するなどの感染対策がとられていた。

研究発表会では7つの部門に分けられ、計2917件の研究発表が行われたほか、共通セッションでも計586の発表が行われた。上記の内容を58もの会場を使用し2日間にて集中して開催された。

ジオシンセティックスに関する研究発表は、第Ⅲ部門にて補強土についての発表が12件\*あったほか、河川堤防の侵食対策についての発表も多数行われ、全国的に頻繁に発生している集中豪雨など、自然災害対策への関心が高いことが窺えた。

その他の分野では特にトンネルや橋梁の経年劣化に対する補修方法や点検手法についての報告が多く、老朽化対策への重要度を感じ取れた。今回は非常に多くの発表が同時に行われたため、あまり多くの発表を聴講することはできなかったが、それぞれのセッションで活発な討議がされており、今後の土木学への寄与が期待できる学術講演会であった。



※補強土に関する発表一覧

講演番号	論文タイトル
[III-316]	棒状補強材とのり面工を用いて補強した盛土の動的挙動特性に関する研究-その1, 小型振動台実験による盛土の破壊挙動および加速度応答特性
[III-317]	棒状補強材とのり面工を用いて補強した盛土の動的挙動特性に関する研究 その2, 小型振動台実験による盛土の変形特性
[III-318]	城郭石垣の耐震補強対策に用いる改良型グリグリッドの土中引抜き実験（その1：実験概要および実験後の観察結果）
[III-319]	城郭石垣の耐震補強対策に用いる改良型グリグリッドの土中引抜き実験(その2：実験結果)
[III-320]	ジオセル補強地盤の三次元移動載荷実験
[III-321]	補強土壁の補強領域のせん断ひずみと壁面材の回転変位の関係の定式化
[III-322]	鋼矢板で補強された河川堤防の健全度調査
[III-323]	アンカー補強土壁を対象とした補強材診断技術の4年間に渡る経年的検証
[III-324]	補強土壁の盛土材の圧縮沈下に対する補強材接合部の挙動に関する模型実験
[III-325]	ジオテキスタイルにより補強された高盛土の築堤時安定管理手法の提案
[III-326]	盛土の液状化対策工法における3工法の温室効果ガス量の算定と比較
[III-327]	補強材リブ周辺の粒子回転運動と粒子間接触力分布に関する2次元DEM解析